

東京学芸大学大学教員研究専念制度実施要項の一部改正

改正理由： 研究専念期間中の授業の対応について、予算の範囲内で非常勤講師枠を措置するために所要の改正を行うものである。

改 正	現 行
<p style="text-align: center;">〔省略〕</p> <p>(授業の対応)</p> <p>第6条 研究専念期間中の授業は、当該教室等の協力体制により行い、<u>予算の範囲内で非常勤講師枠を措置する。</u></p> <p>2 前項の規定は、配分された研究費等により非常勤講師を雇用することを妨げるものではない。</p> <p style="text-align: center;">〔省略〕</p> <p>別紙様式1</p> <p style="text-align: center;">研究専念期間取得申請書</p> <p style="text-align: right;">申請年月日 平成 年 月 日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 所属・職名・氏名 (生年月日・年齢) 2. 取得希望期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日 3. 研究実施機関・住所 4. 取得希望理由・研究計画 (日程表を添付すること。) 5. 研究専念期間中の授業の措置 (<u>全ての担当予定科目への対応について記載すること。</u>) 6. <u>研究専念期間中に任期のある委員会等</u> 7. 所属講座主任又は分野主任並びに教室主任等の意見 (センター所属教員にあつては、センター長の意見) <p style="text-align: right;">署名 ○○○○ ㊟</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 6月以上の研修歴 	<p style="text-align: center;">〔省略〕</p> <p>(授業の対応)</p> <p>第6条 研究専念期間中の授業は、当該教室等の協力体制により行い、<u>非常勤講師枠の措置は行わない。</u></p> <p>2 前項の規定は、配分された研究費等により非常勤講師を雇用することを妨げるものではない。</p> <p style="text-align: center;">〔省略〕</p> <p>別紙様式1</p> <p style="text-align: center;">研究専念期間取得申請書</p> <p style="text-align: right;">申請年月日 平成 年 月 日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 所属・職名・氏名 (生年月日・年齢) 2. 取得希望期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日 3. 研究実施機関・住所 4. 取得希望理由・研究計画 (日程表を添付すること。) 5. 研究専念期間中の授業の措置 (<u>開設学期の変更等の必要 有・無。</u>) 6. <u>研究専念期間中の公務の措置</u> 7. 所属講座主任又は分野主任並びに教室主任等の意見 (センター所属教員にあつては、センター長の意見) <p style="text-align: right;">署名 ○○○○ ㊟</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 6月以上の研修歴

削 除

別紙様式2

研究成果報告書

報告年月日 平成 年 月 日

1. 所属・職名・氏名
2. 研究期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日
3. 研究実施機関
4. 研究の状況及び成果
別紙のとおり（様式任意）
5. 研究成果の公表の方法
別紙のとおり（様式任意）
6. その他参考となる事項

削 除

附 則

1 この要項は、平成26年 1月29日から施行し、平成27年度の研究専念期間取得申請者から適用する。

9. 経費の支出

自費・その他（ ）

(備考) 支援経費が配分されない場合の対応

(辞退・取得)

別紙様式2

研究成果報告書

報告年月日 平成 年 月 日

1. 所属・職名・氏名
2. 研究期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日
3. 研究実施機関
4. 研究の状況及び成果
別紙のとおり（様式任意）
5. 研究成果の公表の方法
別紙のとおり（様式任意）
6. その他参考となる事項

〔備考〕 支援経費の使途

旅 費 円

人件費 円

物件費 円